

小児科

1 一般目標 (GIO : General Instructional Objective)

日常遭遇する頻度の高い小児疾患に対する初期診療能力を身につけるために、成人と異なる小児の特殊性を理解し、小児の診療を適切に行うことのできる基礎的知識・技能・態度を修得する。

2 行動目標 (SBOs : Specific Behavior Objectives)

(1) 医療面接

- ①保護者から診療に必要な情報を的確に聴取することができる。
- ②小児ことに乳幼児に不安を与えないように接することができる。
- ③保護者に児の状態・治療計画を適切に説明することができる。

(2) 基本的診察

- ④全身の診察を系統的に行うことができる。
- ⑤身体発育・精神運動発達レベルを発育曲線、発達検査表を使って把握することができる。

(3) 基本的手技

- ⑥乳幼児の採血、点滴を適切に行なうことができる。

(4) 検査

- ⑦血液、生化学、尿検査、感染症迅速検査の結果を適切に解釈することができる。
- ⑧小児胸部・腹部 X 線写真の基本的な読影ができる。

(5) 診断・治療

- ⑨発熱性疾患の鑑別診断ができる。
- ⑩発疹性疾患の鑑別診断ができる。
- ⑪脱水症に対する経口補水指導・経静脈輸液療法ができる。
- ⑫呼吸障害の診断・治療ができる。
- ⑬けいれんの診断・治療ができる。
- ⑭川崎病の診断・治療ができる。
- ⑮小児外科手術の術式の理解と介助ができる。

(6) 救急処置

- ⑯小児の基本的心肺蘇生処置ができる。

(7) 小児保健

⑰予防接種のスケジュール、副反応を理解し、適切に接種できる。

⑱健康乳児の月齢毎の発育・発達の変化を理解する。

(8) 投薬

⑲小児の年齢別の薬用量を理解し、それに基づいて一般薬剤（抗菌薬を含む）を処方できる。

⑳年齢・疾患等に応じて、輸液の種類、量を決めることができる。

㉑検査鎮静のために、適切な薬剤の選択と投与、モニタリングができる。

(9) カンファレンス

㉒カンファレンスにおいて、担当患者のプレゼンテーションを適切に行うことができる。

3 学習方略

(1) 研修期間

研修期間は1か月～2か月（希望によりそれ以上）とする。

(2) 指導スタッフ

センター長・小児科部長	菊池 信行
新生児内科 統括部長	石田 史彦
新生児内科 部長	西 大介
小児外科 部長	菅沼 理江
小児科 副部長	咲間 裕之
小児科 副部長	小笹 浩二
小児科 医師	溝部万里奈
小児科 医師	小松 洋介
新生児内科 医師	内田 陽子
新生児内科 医師	古谷 智子
新生児内科 医師	境 里彩

(3) 研修方法

	行動目標	方法	場所	担当者
1	①～⑫	見学、実習	2階南病棟 こどもセンター外来 手術室	指導スタッフ全員
2	①～⑫	見学、実習	GCU および NICU 病棟（希望者）	新生児内科医師
3	④、⑤	講義	小児科外来	菊池子供センター長
4	㉒	グループ討議	2階カンファレンスルーム	指導スタッフ全員

① 入院患者研修

研修医は、決められた指導医（2か月以上の研修では、途中で指導医が交代する場合あり）のもとで2階南病棟小児科入院患者の受持医となる。受持ち患者の面接、検査、診察を行い、カルテに記録する。受持ち患者の検査結果、診察所見を指導医に報告し、患者本人または保護者に病状、検査結果、治療方針、今後の予定を説明する。記載したカルテを指導医に見せ、チェックを受ける。受持ち患者が退院後は、速やかに退院記事を作成し、指導医のチェックを受ける。

2か月以上研修をする場合、希望により2週間程度、新生児内科をローテートすることができる。その場合は、おもにNICU入院患者と新生児内科担当外来で、指導医の指導のもと研修を行う。

② 外来研修

週に5回、指導医の監督指導のもと、午前中の一般外来診療を担当する。希望により、下記の専門外来を見学実習することもできる。

1か月健診（担当：古谷、内田）

神経外来（担当：溝部）

アレルギー外来（担当：小笹）

発育発達外来（担当：石田、西）

内分泌外来（担当：菊池、小松）

糖尿病外来（担当：菊池、小松）

シナジス外来（担当：内田）

NICUフォローアップ外来（担当：石田、西、古谷）

心臓外来（担当：咲間）

腎臓外来（担当：神垣）

小児外科外来（担当：菅沼）

③ 小児基本的手技研修

こどもセンター外来および2南病棟において、指導医の指導の下、担当患者の採血や点滴確保を行い、手技を取得する。

④ 予防接種研修(担当：各担当医師)

予防接種外来（毎日午前または午後）を見学し、指導医の監督のもと、予防接種の接種方法について実習する。

⑤ 小児基本診察講義

研修期間中1回、講義を受ける（担当：菊池こどもセンター長）。

⑥症例発表

研修期間に月1回、小児科勉強会において、研修期間中もっとも印象深かった症例について、指導医の指導のもと文献的考察とともに症例報告を行い、スタッフとディスカッションを行う。

(4) 小児科週間スケジュールに従い、以下の行事に参加する。

[小児科週間スケジュール]

月曜日：午前8時 入院患者カルテ回診（2階病棟カンファレンスルーム）

午後12時30分 小児科勉強会（管理棟3階AV講義室）

火曜日～金曜日：午前8時 入院患者カルテ回診（2階病棟カンファレンスルーム）

月曜日～金曜日：午後4時30分

新規入院を中心とした症例カンファレンス（2階南病棟）

月曜日：適宜、小児外科手術の介助

水曜日：午前8時00分 英語論文抄読会（2階病棟カンファレンスルーム）

4 評価

研修の評価は、小児科初期臨床研修評価表に従って、A、B、Cの3段階で自己評価と指導医評価を行う。